

平成27年度

# 全国学力・学習状況調査の 結果について



中新田小学校マスコット「中っち」

海老名市立中新田小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「理科に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 4
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 5
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 6
(資料) 学習・生活習慣と学力との関係	P. 7



# 全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成19年度に始まった全国一斉の調査です。平成22～24年度は抽出調査（平成23年度は震災の関係で実施を中止）でしたが、平成25年度から再び全国すべての小中学校が対象となりました。

なお、今年度実施された「理科」については、3年に一度実施されるものです。

## ◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## ◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第6学年
- ・ 中学校第3学年

## ◆ 調査内容

- (1) 教科に関する調査

### 【小学校】

- 国語A・算数A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・算数B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

### 【中学校】

- 国語A・数学A (主として「知識」に関する問題)
- 国語B・数学B (主として「活用」に関する問題)
- 理科 (主として「知識」「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

- (2) 児童生徒に対する質問紙調査

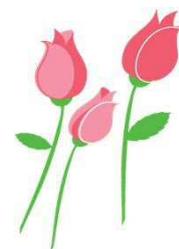
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

- (3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

## ◆ 調査実施日

平成27年4月21日（火）



## 国語に関する調査結果

### 国語 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

○「話すこと・聞くこと」では、聞き方の説明として適切なものを選択する問題で正答率が高く、話し手の意図をとらえながら聞くことや自分の意見と比べて考えをまとめる力が定着している児童が多いです。

○漢字の読み書きは、正答率が高く、言語の特徴や決まりに関する事項について、理解が定着していることがうかがえます。

#### 《努力を要する所》

○「伝統的な言語文化と国語の特色に関する事項」では、文の中における主語をとらえる問題に課題が見られます。

○「読むこと」では、新聞のコラムを読んで筆者の意図や思考を想定しながら表現の工夫をとらえたり、引用したりすることに課題が見られます。

### 国語 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

○「読むこと」では、登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりや気持ちの変化をとらえる問題がよくできています。

○「書くこと」では、新聞の見出しの表現の工夫について、目的や意図に応じた適切な見出しを選択することができています。

○全般的に、正答率が全国平均に比べて高く、「活用する力」の向上が見られます。

#### 《努力を要する所》

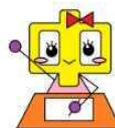
○「読むこと」では、目的に応じて中心となる語や文をとらえながら文章を読むことに課題が見られます。

○自分の考えを書く問題や文章の要旨をまとめて書く問題では、無解答率が高く、後半の設問への時間確保も課題が見られます。

### 今後の具体的な取組

○「基礎的・基本的な事項」の定着として、文章の中心となる事からをとらえながら読むことや、説明する文章の書き方として具体的な事例を挙げて書くことの充実を図っていきます。

○相手の話の目的や意図をとらえながら内容を聞き取ること、自分の考えと比べて自分の考えを持つことの指導では、各教科において聞くことの学習の機会を意図的に設定していく必要があると考えます。



## 算数に関する調査結果

### 算数 A

(主として「知識」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 「数と計算」の分野では、異分母の減法の計算がよくできています。また、加法の計算や加法における計算の確かめの方法を理解しています。
- 「量と測定」の分野では、日常生活の中で必要な時刻を求めたり、角の大きさを正しく測定する問題で正答率が高くなっています。
- 全般的に無解答率が低く、児童の意欲がうかがえます。

#### 《努力を要する所》

- 「数と計算」の分野では、減法の計算で計算の結果のおよその大きさをとらえる問題や、末尾のそろっていない小数の計算で課題が見られます。
- 「図形」の分野では、見取図と展開図を関連づけて立体図形の辺や面の位置関係をとらえる問題で、理解が曖昧な児童が見られます。

### 算数 B

(主として「活用」に関する問題)

#### 《優れている所》

- 「図形」の分野では、平行四辺形の辺の組み合わせを選ぶ問題で、平行四辺形の性質を基にして適切な組み合わせをに選ぶことができます。
- 単位量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買い物の仕方を正しく選択する問題では、全国平均に比べて正答率が高くなっています。

#### 《努力を要する所》

- 比較量と割合から基準量を求める問題では正答率が低く、課題が見られます。
- 分割された二つの図形の面積が等しくなる理由や、合同な三角形の性質を基に特定の角の大きさが $30^\circ$ になる理由を書く問題では無解答率が高くなっています。

### 今後の具体的な取組

- 「数と計算」においては、位に正しく着目することや位をそろえて計算することの理解を確実にしていきます。また、計算の結果を見積もり、計算の仕方を考え、結果を振り返って確かめる活動の充実を図っていきます。
- 基準量・比較量・割合の関係を、図や数直線などに表してとらえられるような指導の充実を引き続き行っていくとともに、児童が自分の考えを深め、表現していける授業づくりを工夫していきます。



## 理科に関する調査結果

### 《優れている所》

○観察・実験の結果を整理し考察することについて、グラフなどを基にして地面の様子と気温の変化を関連づけて考察したり、観察記録を基に星座や雲の動きについて考察したりすることは相当数の児童ができています。

○顕微鏡など基本的な器具の名称や適切な扱い方については全国平均に比べ解答率は若干高く、実験への意欲が見られます。

○全般的に無解答率が低く、児童が最後まで取り組む姿勢がうかがえます。

### 《努力を要する所》

○メダカの雌雄を見分ける方法について、メダカの雌雄は、せびれ・しりびれに違いがあることを理解できていない児童が多く見られました。

「せびれ」と「おびれ」を混同している解答が目立ちます。

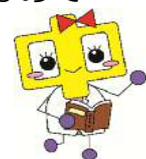
○月の形と場所を選ぶ問題では、月は1日のうちで時刻によって形は変わらないが、位置が変わることを理解できていない児童が多く見られます。

○実験の結果を予想し、見通しを持って実験を構想したり、実験の結果を基に自分の考えを表現したりすることに課題が見られます。

### 今後の具体的な取組

○実験で使用する器具の意味をとらえ、適切な扱い方を理解させる指導の充実を図っていきます。実験や観察でのめあてを明確にして、目的に応じて必要な器具を考えさせるとともに、器具の名称を使って話し合ったり説明したりする活動を工夫していきます。

○「基本的・基礎的な事項の活用」という視点において、学習を通して獲得した知識を、実際の自然や日常生活の事物・現象に当てはめて考えさせる活動を充実していきます。



# 児童質問紙の結果より

## 学習について

### 《よかった所》

- 「算数の学習について好きですか」や「大切だと思いますか」の設問では、どちらも肯定的な回答をした児童が8割以上います。
- 「算数の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートを書いていますか」の設問では9割以上が肯定的な回答をしています。
- 「家で学校の宿題をしていますか」の設問では、全員の児童が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しています。

### 《課題と思われる所》

- 「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組立てを工夫していますか」の設問では、「当てはまらない」「どちらかという当てはまらない」が4割以上います。
- 「自分の考えを周りの人に説明したり発表したりしているか」の設問では、当てはまらなと回答した割合が全国平均を下回っています。

## 生活について

### 《よかった所》

- 「朝食を毎日食べていますか」の設問では、95%以上の児童が「当てはまる」と回答しています。
- 「人の気持ちがわかる人間になりたいですか」の設問では、9割以上の児童が肯定的な回答をしています。
- 「将来の夢や希望を持っていますか」の設問では、8割以上の児童が肯定的な回答をしています。

### 《課題と思われる所》

- 「地域の行事に参加していますか」の設問では、「当てはまる」が3割より少なく、全国平均を下回っています。
- 「友達同士で話し合って学級の決まりなどを決めていきますか」では、「当てはまる」が26%で全国平均を下回っています。

## 今後の具体的な取組

- 「家で学校の宿題をしている」についての設問では、全児童が肯定的な回答をしている反面、「自分で計画を立てて学習しているか」については6割程度になっています。引き続き、家庭学習の充実とともに計画的な学習の取り組み方や読書活動の推進を図る必要があると考えます。
- 「学校に行くのは楽しい」では、8割以上の児童が肯定的な回答をしています。否定的な回答をする児童もいることを課題と受け止め、一人一人の児童に対応した指導・支援を行っていく必要があると考えます。



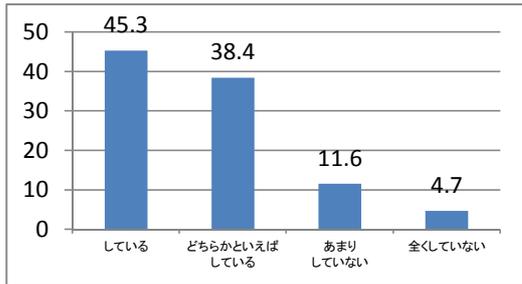
# ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい6つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

## 1 規則正しい生活をしましょう

「早寝・早起き・朝ご飯」を実践しましょう。

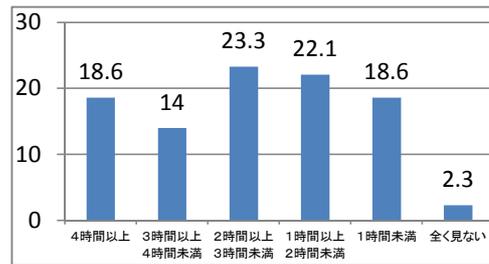
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。



## 2 家庭でルールを決めましょう。

テレビを見る時間、ゲームをする時間、携帯電話やスマートフォンに費やす時間を約束しましょう。

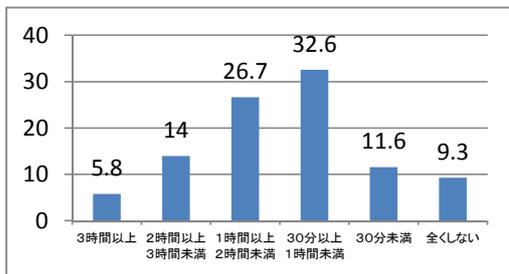
普段1日どれくらいの時間テレビやビデオ・DVDを見ますか。



## 3 家庭学習の習慣をつけましょう。

学年×10分を目安に家庭での学習時間を決めましょう。

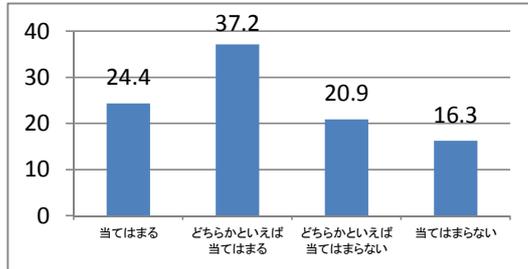
普段、1日にどれくらい勉強をしますか。



## 4 地域の行事に進んで参加しましょう。

地域の行事に参加して、地域の一員としての意識を育てましょう。

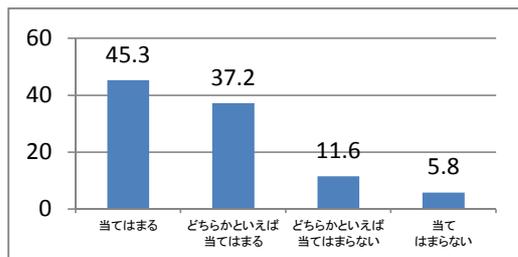
今住んでいる地域の行事に参加していますか。



## 5 子どものよいところを見つけましょう。

よいところを見つけて伸ばしましょう。

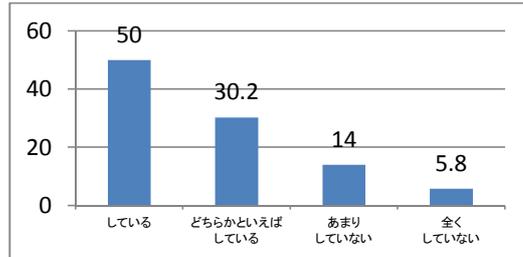
自分には、よいところがあると思いますか。



## 6 子どもとたくさん話しましょう。

学校での出来事について話をする時間をつくりましょう。

家の人と学校での出来事について話をしますか。



文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

### 児童・生徒の学習・生活習慣と学力との関係

次のような児童・生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。  
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

#### 【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数、理科に対する関心・意欲・態度が高い

#### 【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

#### 【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

#### 【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

#### 【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて勉強をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

#### 【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の方は、授業参観や運動会などの学校行事に来る

#### 【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

#### 【メディアとの関係】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い



平成27年11月